



今回の児童・生徒のコーナーは、白浜小学校の児童の作品を紹介します。  
(敬称略)



6年 大塚 修司

ゆれながら、ゆっくり走る 船の中  
外人さんと、語る楽しさ

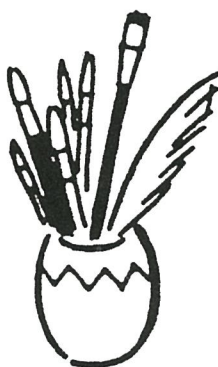
芦ノ湖めぐりの遊らん船の中で外人さんと会いました。あいにく外は雨が降っていてまわりのけしきは、良く見えませんでした。がゆっくり走りながら、外人さんと話したり、手遊びをしたりしながら楽しくすごしました。



6年 伊藤 和子

富士の山 雪は解けぬが つつじ咲く

雪の残っている富士山の木々の間に、あかむらさき色のみつばつつじの花が、ぽつぽつと咲いています。なんとかわいらしく、美しい花なのでしょう。私の目に留まりました。



6年 市田慎一郎

大仏に たんぼほひとつ さいている

大仏の前のコンクリートの間から、たんぼほの黄色い花が一つだけ顔を、のぞかせて、いました。  
春に咲きおくれた、たんぼほなのでしよう。



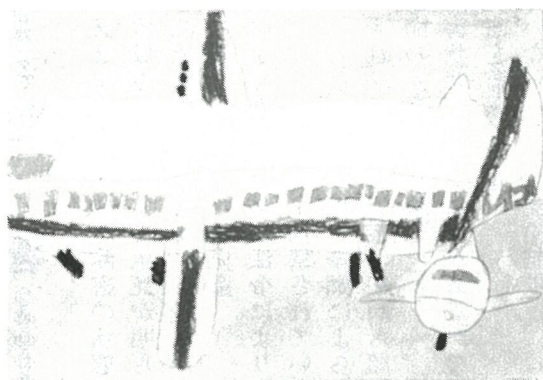
6年 大木 理恵

五月雨に ふられてぬれる みつばつつじ

バスで富士へ登る道で、私は、木々の間にみつばつつじを見つけました。  
みつばつつじは、五月雨に降られてぬれていました。その葉をさわると、しずくが、数えきれないくらい落ちてきそうです。



2年 うざわきょうこ



ひこうき

ひかり歌壇

伊藤 定男

弱音吐くことなき妻の疲労度を  
知りつつ労ふ言葉出でざる

椎名 正三

黙禱の間たまゆらに浮かびたる  
吾が戦友の若き俤

青柳 フミ

なだらけき安房の山並緑さえ  
雲間に聳ゆる観音おろがむ

鈴木 恵美

久々に埃洗はれ庭の木々  
降り次ぐ慈雨に甦り来ぬ

伊藤 鏡子

満々と水張られたる早苗田に  
影を映して驚一羽舞ふ

藤代 敏子

片恋の花とふ淡き失車草  
主なき庭にひそと揺れおり

土屋 好

気がかりの畑の大草取り了えて  
夕べ涼しき小径を帰る

竹内 紀葉

友おくる葬列のろき墓原に  
虫取撫子丈ひくく咲く